

平成24年度在宅医療連携拠点事業成果報告書

在宅医療をすべての地域へ、すべての人へ！

～多死社会を迎え、在宅医療が解決の鍵になる～

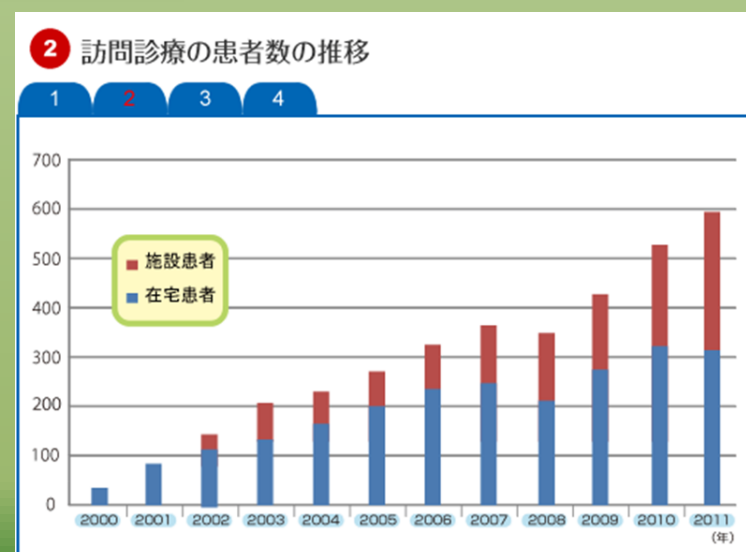


医療法人ゆうの森たんぽぽクリニック
在宅医療連携拠点たんぽぽ
一井美哉子、松重明、塚本強
木原信吾、永井康德

事業実施主体の概要



- 在宅専門診療所(在宅療養支援診療所)
- 平成12年10月開業
- 在宅患者数 約550名 (平成25年1月現在)
- 在宅看取り数 82名 (平成23年実績)
- 常勤医師8名、非常勤医師3名

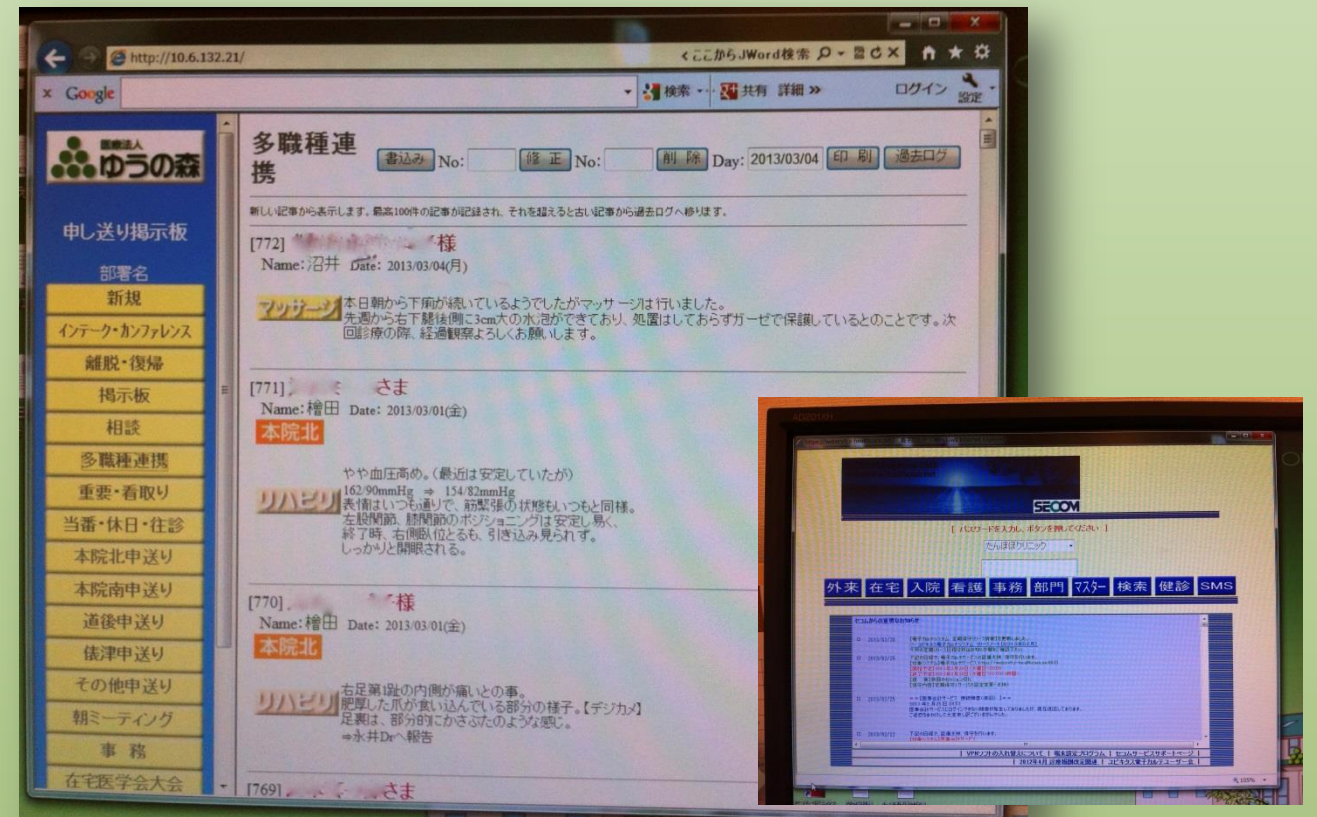


在宅医療はチームでの情報共有と 方針の統一が鍵

IT技術で多地点・多職種連携の促進



愛媛県内の診療所3か所を
つないで毎朝のWEB会議



申し送りブログと電子カルテを
用いて、多職種による情報共有と
多職種の専門性を尊重した話し合い

医療・介護・看取りの方針統一

在宅医療をすべてに！

在宅医療を
すべての地域
に広げよう！

在宅医療を
すべての人
に広めよう！

在宅医療で
地域に看取り
を取り戻そう！

多死社会を迎え、在宅医療は解決の鍵になる

1. 俵津プロジェクト

住民1,200人、年間赤字3,000万円で
廃止が決まった僻地診療所の再生



24時間対応で積極的な在宅医療を広域的に展開

在宅医療の充実
自宅での看取りの増加
医療費の減少



僻地診療所



在宅医療



たんぽぽ俵津診療所

経営の成立
開業4ヶ月目で経営改善



医療者の疲弊の解決



都市部の診療所



約70km離れている

たんぽぽクリニック

循環型地域医療

(複数医師の交代制で医療
従事者の疲弊の解決、教育
研修機能の充実)

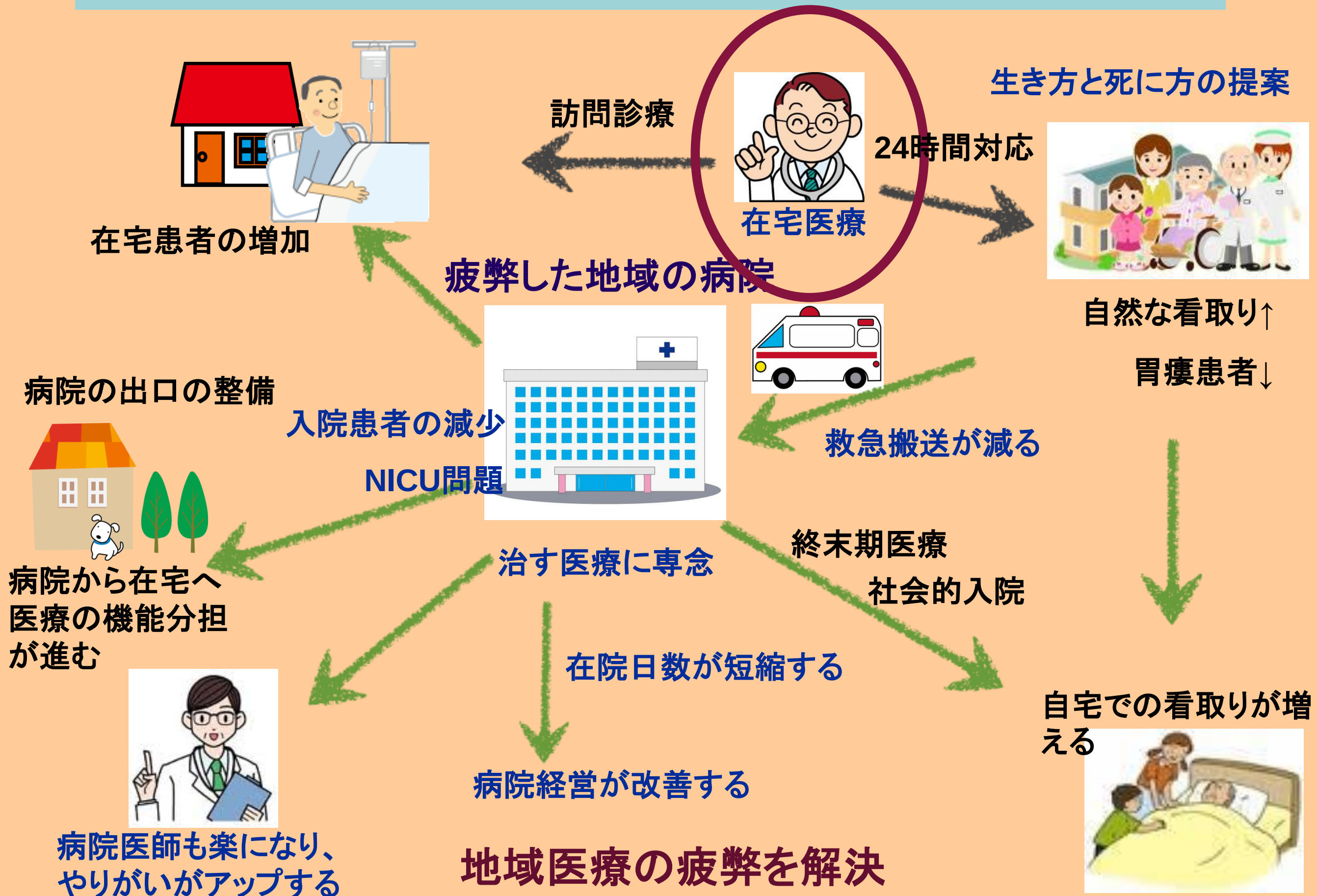
調剤薬局の併設

(院外処方による経営改善と
薬担当のNSの活用)

調剤薬局



2. 在宅医療の発展が地域医療の疲弊を救う



3. 急性期病院職員への教育・研修活動



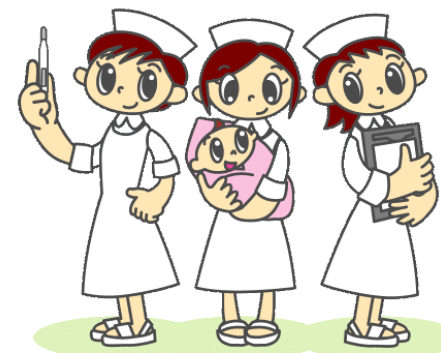
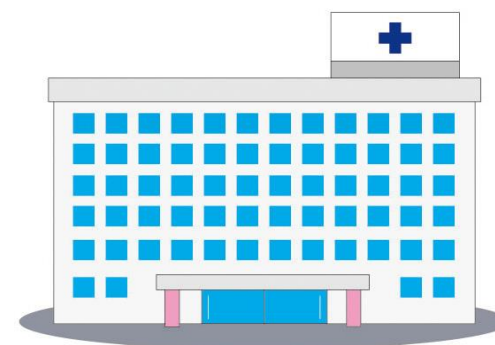
地域の在宅医や
訪問看護ステーションへ患
者を託し引き継ぐ

たんぽぽクリニック



医師、看護師が
週1回大学病院へ
勤務

愛媛大学医学部附属病院
医療福祉支援センター



連携室での
退院患者相談

病棟カンファレンスへの
定期参加と在宅医療に
関する病棟スタッフへの
講義



連携室スタッフへの
講義や養成講
習の担当

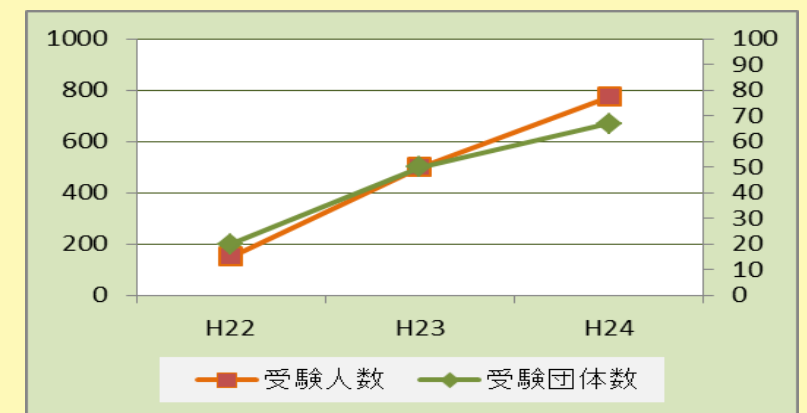
4. 全国統一在宅医療テスト

患者にとって、医療者の無知は**罪**！

在宅医療テスト

知識の普及が患者マネジメントの
質の向上と在宅医療普及につながる

公式テキスト



第3回全国統一在宅医療テスト

(平成24.10.28)

全国から受験者数773名、67団体が参加

5. 看取りのパンフレット制作

在宅医療と看取りの道しるべに

第一部

在宅医からのメッセージ

- ・ 住み慣れた家での看取りとは
- ・ 枯れるように逝くこと
- ・ 楽なように、やりたいように 後悔しないように

第二部

看取りと向き合う

- ・ 大切な人を看取った家族の物語り
- ・ 看取りの時間が近づいたら



医療・介護に携わる人達への教育・研修テキストとしても活用予定

6. 地域住民への啓発活動

演劇「命に向き合う時」～胃ろうと延命～



「本人がそれを望むかどうか」を考えて、治療や療養の場、看取りの場所を選択できる社会にするためにはどうすればよいのか？

脚本・演出家、劇団員とゆうの森スタッフの話し合いを重ね完成させた**演劇**。

第15回日本在宅医学会大会において上演

NHK全国ニュース、地元新聞で取り上げられ、CATVで放映

在宅医療をすべてに！

在宅医療を
すべての地域
に広げよう！

在宅医療を
すべての人
に広めよう！

在宅医療で
地域に看取り
を取り戻そう！

**自分らしく豊かに生きる
～楽なように やりたいように 後悔しないように～**

以上が、私達連携拠点たんぽぽの取り組みです！